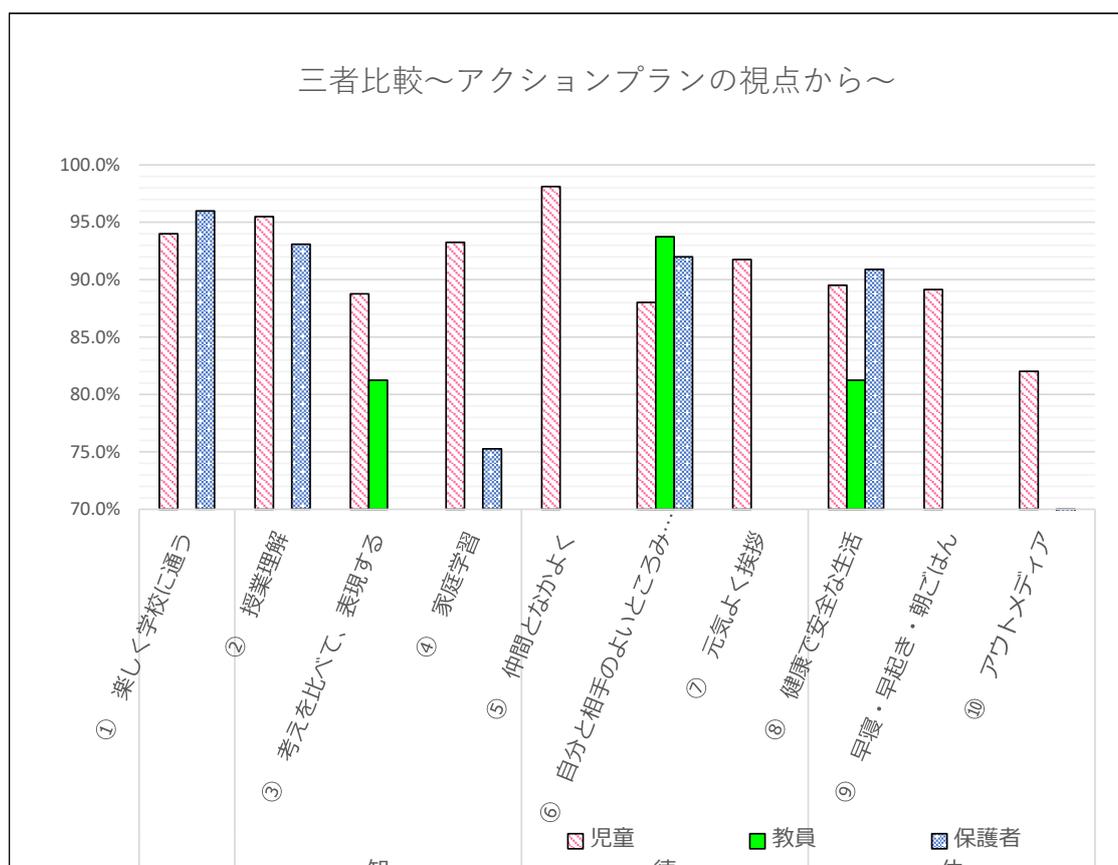


R5 12月学校評価

		児童	教員	保護者
知	① 楽しく学校に通う	94.0%		96.0%
	② 授業理解	95.5%		93.1%
	③ 考えを比べて、表現する	88.8%	81.3%	
徳	④ 家庭学習	93.3%		75.3%
	⑤ 仲間となかよく	98.1%		
	⑥ 自分と相手のよいところみつけ	88.0%	93.8%	92.0%
体	⑦ 元気よく挨拶	91.8%		
	⑧ 健康で安全な生活	89.5%	81.3%	90.9%
	⑨ 早寝・早起き・朝ごはん	89.1%		
	⑩ アウトメディア	82.0%		64.0%



【成果】

- ①「楽しく学校に通う」と回答した児童や保護者が多く、共に90%を超え、1学期よりさらに数値が上昇した。
- ②「仲間となかよく」と回答した児童が90%を超えている。どの活動においても互いに声を掛け合って仲良く関わる姿が多く見られた。また、「自分と相手のよいところみつけ」では、教員、保護者ともに90%を超えている。
- ③家庭学習は、児童が90%を超えていて、家庭学習週間等の全校での取り組みの効果があったと考える。しかし、保護者の評価は80%を下回っている。今後は、取り組み方や家庭学習内容について学校と家庭が共通理解を図って、取り組みの効果を上げていく。

【改善点】

- ①「考えを比べ、表現する」の項目の評価が児童、教師共に80%を超えた。効果的な支援を教職員間で振り返り、次年度に向けて児童一人一人に身に付けさせたい力を明確にし、まとめをしっかりと行っていく。
- ②「自分と相手のよいところみつけ」では、児童、教員、保護者ともに1学期の数値よりも上昇した。2学期は、他校との交流会や全校での集会活動等、児童自らが主体となって取り組み、振り返りをしっかりと行ったことで自己肯定感の高まりや相手意識の高まりが見られ、効果が出ている。今後も児童の自分や相手のよいところみつけをしている場面を具体的にとりあげ、褒め、認めるなどして継続していきたい。
- ③「アウトメディア」の項目について、保護者の評価が80%を下回っている。SNS等の正しい使い方や家庭のルール等を振り返る機会を促すとともに、中学校区の中学校、小学校合同でのアウトメディア習慣の取組の強化をしていく。